

区施設の設備運用改善による省エネルギーの取り組み

1 目的

区では、平成23年度に「中央区役所温室効果ガス排出抑制実行計画」を改定し、これまでのISO14001規格に基づく環境マネジメントシステムから、区の全ての組織及び施設における事務事業を対象として、独自の環境マネジメントシステム（以下、「EMS」という。）によるエコオフィス活動を推進しているところです。

しかし、区民サービス向上のための事務事業の充実・拡大や新規施設の整備に伴い、今後、温室効果ガス排出量の削減は厳しい状況になることが予想されます。

そこで、本年度、区施設の設備運用改善による省エネルギー化に取り組むため、エネルギー使用の大きい複合施設のうち、2施設をモデル施設として選定し、エネルギー使用実態の把握及び設備運用マニュアルを作成することにより、効率的な温室効果ガス排出量の削減に取り組んでいきます。

また、今後は、この設備の運用マニュアルにより、効果が確認できた取り組みを基に、他の施設にも適用できる管理マニュアルを整備していきます。

2 モデル施設

(1) 中央区保健所等複合施設

- 選定理由
- ① エネルギー使用量が大きいため
 - ② 複合施設内に多くの用途の異なる施設（保健所、障害者施設、教育支援施設、郷土天文館、保育園）があるため
 - ③ 特殊な熱源（地域冷暖房）を使用しているため

(2) 月島第三小学校等複合施設

- 選定理由
- ① エネルギー使用量及び面積当たりのエネルギー使用量（原単位）が大きいため
 - ② 複合施設内に多くの用途の異なる施設（学校、運動場、体育館、幼稚園、障害者施設、文化学習施設、温水プール）があるため
 - ③ エネルギー使用の大きい設備（温水プール）があるため

3 事業の概要とスケジュール

(1) 概要

用途の異なる複数の施設において、①平成25年度に施設の特性や設備の運用実態などを把握し、省エネルギー効果の高い運用方法を提案する。②平成26年度に運用改善による省エネ効果の測定を行い、効果が確認できた取組を基に他の施設に適用できる設備の管理マニュアルを整備する。

(2) スケジュール

年度	平成25年度												平成26年度											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
作業	準備																							
				実態把握																				
	省エネメニュー検討→												効果測定（予定）											
													マニュアル整備（予定）→											

(用語説明)

準備	建物の構造・電気配線・空調配管等の調査、実態把握のための計測器設置場所の選定と計測器の設置
実態把握	用途の異なる施設ごとの季節ごとのエネルギー使用量を計測し、エネルギー使用実態を把握 施設ごとにヒアリング（随時）
省エネメニュー検討	省エネルギー対策メニューを検討し、季節による空調機の運転時間等を定めた施設ごとの設備運用マニュアルを作成
効果測定（予定）	実態把握を行ったそれぞれの施設に対して設備運用マニュアルに基づく運用方法の指導及び効果測定（エネルギー使用量を把握し、運用改善前後の比較）を実施
マニュアルの整備（予定）	効果測定により効果が確認できたもの基に、他の施設でも活用できる一般職員にもわかりやすい管理マニュアルを整備